

令和3年度 山形県立米沢工業高等学校・全日制の課程 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

学校教育目標		「健康で心豊かな、創造力とたくましい実践力のある工業技術者の育成」
全日制	生徒に育む資質・能力（米工のABC）	A : Actions speak louder than words たくましい実践力（実践躬行）
		B : Behavior 健康で心豊かな人間性
		C : Courage & Creativity 新たな時代を担う豊かな創造力
学校経営	(1) 募集定員の充足【全日制200名、専攻科10名】 (2) 米沢産業高校（仮称）開校整備委員会の設置・運営 (3) 働き方改革の研修 (4) 教師の研修機会の確保 (5) 学校いじめ防止基本方針の履行 (6) 学校部活動基本方針の履行	

達成度	A : 達成
	B : 概ね達成
	C : やや不十分
	D : 不十分

専攻科	重点目標	1 : 地域が求める高度な技術を身に付けた実践力のある工業技術者の育成
-----	------	-------------------------------------

課程	生徒に育む力	評価項目	今年度の達成状況	達成度	次年度に向けた改善策	学校関係者評価	
全日制	A たくましい実践力	勤労体験学習などを通して、働くことの大切さを理解させ協力して活動できる生徒を育成する。	自転車小屋のペンキ塗りは雨天の中であったが協力して行った。雪囲い撤去は類の協力もあり多くの生徒が頑張っていた。	B	次年度も継続	・自ら動く原動力としての実践力はおおむね達成している。 ・社会参加活動では上郷コミセン各種事業にご協力いただき地域とのつながりを大切にいただいた。 ・人と人とのつながりの中で心や人間性が育まれると思う。 ・社会、世界、コミュニティの中の一員として存在するのに必要な基礎力は大小硬軟種々多様な学校生活の中でのコミュニケーションでトレーニングされており、今後の発揮に期待できる。 ・1年次の早い段階で「新たな時代」のイメージを生徒各自が持つことで、その後の学びに対するモチベーションにつながるのではないかと。 ・Classroomの活用等一気に体制が整い、課題研究発表会等他に広めたい活動が展開されており中学校や地域とのつながりを生かした活動を期待します。	
		シラバスや年間学習指導計画を作成・活用して、計画的に各教科・科目の学習目標が達成できるよう呼びかける。	今年度については概ね予定通りに進んでいる。次年度に向けて学習評価の研修会を行った。	B	観点別評価の実施		
		社会参加活動やボランティア活動を通して、人々とのつながりを大切にしながら社会の一員として社会貢献できる力を育む。	外部での活動が制限されるなか、部活単位で地域の行事に参加し、地域に貢献できた活動もあった。	B	SDGsとの結び付け		
		就職進路対策試験の実施。進学受験先に応じた個別指導を実施し就職内定100%。進学希望者合格100%を目指す。	就職指導と同様に進路対策試験を実施した。3年生は7/26～30に進学講習、模擬試験、面接指導を行った。就職内定100%。進学希望合格98%達成。	B	次年度も継続		
		日常の清掃活動等を通じて、快適な学習環境の整備・保全を図らせる。	全職員の協力を得ながら、環境整備が図られている。	A	次年度も継続		
	B 健康で心豊かな人間性	QU検査の結果の検討会を実施し、表面化しない生徒が抱える問題の気づきや学級経営の一助となるようにする。	QU検査の利活用の方法について、しっかり明示していく必要を感じた。実施した後の取り組みが大事。	B	QU活用法などガイドライン作成		
		全クラスのLHRに年4回「キャリアの時間」を設定し、年度目標、学期目標と振り返りの実施指導をする。	5/12、7/20、12/22、3/24に実施した。昨年度の反省から学年毎に要項を作成し、各担任が指導しやすい配慮を行った。	B	次年度も継続		
		特別支援に係る指導体制を充実させ、学習上・生活上の困難の改善を支援する。	通級指導員の先生方に面談や支援策の教示などをしていただき、効果を挙げている。	B	次年度も継続		
		自己管理能力を高め、基本的な生活習慣を確立し、いつも明るく学校生活が送れるよう指導する。出席率99.5%以上。	特定の事情のある生徒を除き、欠席、遅刻、早退が全体的に少ない。1、2学期の出席率99.5%達成。	A	次年度も継続		
	C 新たな時代を担う豊かな創造力	教護会と連携し、生徒の健全育成を図り新たな時代を生き抜く生徒を育成する。	コロナ感染拡大のため、限定的ではあるが生活・広報委員会などで取組に努めた。	C	次年度も継続		
		ICT整備委員会と連携し、ICTの効果的な活用方法の研究とe-教務の運用・整備を行う。	教室のプロジェクター導入やクラスPCの導入、Classroomの活用、e-教務の導入と劇的に変化した状況の中で、先生方のご協力により進めることができた。	A	e-教務の課題改善		
		部活動等への全員加入と意欲的な活動を推進し学校全体を活性化させる。更に全国大会や東北大会等への出場及び入賞を目指す。	部活動全員加入。レスリング、スキー（クロスカントリー）、水泳（飛込）でIH出場。水泳飛込はインターハイ6位入賞。	A	人間性の育成にも力を入れる		
		キャリア教育総合実践プログラムを履行し、適切なタイミングを見極め効果的に進路指導できるよう努める。	企業見学制限やインターシップ延期(6→10月)で適切なタイミングで活動できない期間があったが、それ以外は概ねスケジュール通り進めることができた。	C	オンライン講習やキャリア教育研修等の積極的な利用		
		米沢市コンソーシアムや企業、小中学校と連携した課題研究や出前授業、研修を学期2回以上行う。	最先端の大学の施設や、米沢市と連携した課題研究。小学校への防災出前授業など年間5回以上行った。	B	教育課程に入れた取組		
	学校経営	評価項目	今年度の達成状況	達成度	次年度に向けた改善策		学校関係者評価
	経営の重点	一斉メールの配信やホームページの更新により、タイムリーで的確な情報発信を図り保護者等への連絡を密にする。	保護者アンケート結果より、一斉メールは94%以上がおおむね良かったと回答があった。HPは内容を吟味してタイムリーな発信に努めていきたい。	B	次年度も継続		
米沢産業高校（仮称）の開校整備委員会において、教育課程の特徴や観点別評価。制服の基本方針や部活動設置の基本方針等を米沢商業高校と連携し検討を進める。		作業部会の教育課程班、生活班、施設整備班で計画的に進めることができた。	B	キャリア探究の実践			
いじめから生徒を守るとともに、いじめを認知した場合は全教職員の間で共通理解のもと適切な対応をする。		いじめを認知し、家庭と対策委員会との連携を行い確実な対応を行った。	B	来年度も全員面談の実施			
健康観察カード等により生徒の健康状態を把握し、感染症などに対する早期対応を期する。		担任・類・学年の協力の下、毎日実施して健康状態を把握している。	A	次年度も継続			

課程	育てたい人材	評価項目	今年度の達成状況	達成度	次年度に向けた改善策	学校関係者評価
専攻科	地域が求める高度な技術を身に付けた実践力のある工業技術者の育成	山形大学国際事業化研究センターや地域社会との協働的学習を通して、各種連携事業を立案・実践し、ものづくり活動による地域課題解決能力を育成する。 「デザイン思考」を活用した、アクティブラーニングやグループワークを通して、個々が有する創造的能力の向上が図れる実践的学習に努める。	山形大学と連携してEDGE-NEXTやシリコンバレー版スーパーエンジニアプログラミングを受講している。また、継続事業として刺し子工房とも連携した事業を立案し実践している。第1回目となる最上川源流よねざわ紅花まつりにも協働参加し、地域の課題を解決できるような活動を行った。 様々な活動を通して、アクティブに学習活動ができています。	B	次年度も継続	・地域社会との連携やDX時代を支えるAIやIoTの技術者を育成するべきと考える。 ・設置されている3コースは現在のものづくりの現場のニーズに合致している。